



英国 - その文化と言語 -

英国の大学院卒業後、バイリンガル編集者として10年ロンドンに住んだ経験を生かし、英国の文化、歴史、言語などの魅力をお伝えします。

講師 ワトソン環

1957年生まれ。出版社の編集者時代、社内奨学金でロンドン大学修士課程（メディア・コミュニケーション）終了。その後、ロンドン支社にて勤務。東京本社に異動後、定年退職。

第1回目

芸術と文学の国、英国

2022年1月25日（火）14時～15時半

物価の高いことで有名なイギリスですがロンドンの美術館や博物館は無料で好きなだけ芸術に浸れます。また、ビートルズに代表されるように20世紀はイギリスが発信する音楽の全盛期でもありました。さらに[くまのプーさん]や[ピーターラビット]などはイギリスの児童文学です。イギリスが育んだ芸術の一端をご紹介します、原書などへの興味のきっかけの一助とします。

第2回目

イギリス英語という言葉を考える

2022年2月1日（火）14時～15時半

国際語で、外国語としては世界で一番話されている英語。しかし12世紀頃ローマ帝国の支配やケルト人の時代などを経て今の英国になったため、言語もラテン語をはじめ様々な言語を取り入れて英語ができています。イギリスでは街によって訛りが違うほど多様な英語が話されています。雑学を交えてイギリス英語のポイントをお話しします。

第3回目

ロイヤルファミリーで辿るイギリスの歴史

2022年2月8日（火）14時～15時半

ロイヤルファミリーが人気のイギリス。昨今ではダイアナ妃の離婚と死などスキャンダルも多いですが、イギリス王は個性派揃い。スペインの無敵艦隊を破ってイギリスを世界の覇権国家にしたエリザベス1世、産業革命でさらなる発展をイギリスにもたらしたビクトリア女王、世界大戦やフォークランド紛争を勝ち抜いたエリザベス2世と、エピソードに絡めながらイギリス史を紹介します。

第4回目

ロンドンの魅力紹介

2022年2月15日（火）14時～15時半

ロンドンの成り立ちを解説します。33の行政区からなるロンドンですが、テムズ川の北岸と南岸では、その歴史が異なります。ターミナル駅とその特徴、そして世界第二の観光地としての見所（バッキンガム宮殿、ホワイトホール、トラファルガー広場、セントポール寺院、ビッグベンと国会議事堂、タワーブリッジ等）を歴史的文化的解説を交えて紹介します。

定員 18名

受講料 2000円（教材費なし）

持ち物 検索ツール（スマホなど）

会場 第3集会室

問合せ・申込先 「なごやか市民教室」事務局 電話 052-321-1579

